

## C02 レーザー治療 同意書

### ① 禁忌事項（治療を受けられない方）

- ・治療部位に金属プレート・シリコン・金の糸が入っている方、感染症・傷・皮膚疾患がある方、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射等を受けて2週間以内の方
- ・麻酔薬に対してアレルギー体質の方
- ・重症な心臓疾患・出血性疾患・糖尿病の方、悪性腫瘍のある方、ケロイド体質の方、妊娠中の方
- ・関節リウマチなどでシオゾールなどの金製剤を服用中あるいは金製剤の服用歴のある方

### ② 確認事項

- ・ホクロ・イボ・魚の目では、局所麻酔が必要です。細い針で注射しますので、注射の痛みは少ないです。麻酔後のレーザー照射時には多少の熱感や圧迫感があることがあります。
- ・レーザー治療により皮膚病変は消失、陥凹し、周囲は発赤します。治療直後は患部に消毒用軟膏を塗布し、絆創膏で覆います。
- ・処方された消毒用軟膏を、患部が乾燥するまでの7～10日間は、毎日塗布して絆創膏で覆って下さい。防水性の傷あてパッドは、患部の乾燥が遅れるため使用しないで下さい。術後10日前後にカサブタが剥がれて患部に赤みが残ります。カサブタを無理に剥がすと痕が残ることがあります。
- ・レーザー治療後の10日以降に経過観察と追加の軟膏処方のため、必ずもう一度、来院して下さい。
- ・2回目の来院時に、炎症およびアレルギー反応を抑え、赤みを早期に改善し、皮膚の盛り上がりを抑えるため、リンデロンVG軟膏（ステロイド入り抗生物質）を処方します。最低3ヶ月間、できれば半年間は継続して、患部に絆創膏を貼らないで毎日塗布して下さい。
- ・患部の赤みは、炎症性の色素沈着により一時的に濃くなりますが、術後2～3ヶ月をかけて徐々に薄くなります。術後1年以上経過すると逆に患部が白くなる可能性があります。患部をヘチマや硬いタオルで、こすったりしないで下さい。ケロイド体質の方は術後癬痕が生じる可能性がありますので、定期的な診察を受けることが必要です。
- ・術後2～3ヶ月程度はメラニン代謝異常が続きますので、日焼け止めクリームを患部に塗布して紫外線を避けて下さい。日焼け止めクリームは、SPF30以上のものを選んで下さい。
- ・ホワイトニングクリームを併用すると、炎症性の色素沈着の赤みが早期に改善されます。
- ・副作用・不可抗力として術後に再発、ケロイド癬痕、陥凹、脱毛、白斑が生じる場合があります。その場合には治療費の返還、その後の治療費の金銭的補償を行うことはできません。

中濱クリニック 医師 中濱 昌夫 殿

私は担当医師から今回のC02レーザー治療について上記の禁忌事項に当てはまらないことを確認し、確認事項に記載された方法、効果、副作用について詳しい説明を聞いて理解しました。その上で皮膚病変に対してこの治療を受けることに私は同意します。

同意日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

患者様 住所： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

保護者（C02レーザー治療を受ける方が未成年者の場合）

住所： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_